

平成26年度第1回近畿ブロック災害派遣医療チーム技能維持研修

6月27日、28日、災害派遣医療チーム(DMAT)技能維持研修が国立病院機構大阪医療センターにて開催されました。技能維持研修は、日本DMATの隊員資格更新に必要な研修とされており、5年間で2回受講することが義務づけられています。当センターからは、受講生として6名、インストラクターとして1名が参加しました。講義はもちろん、机上シミュレーション、パソコンを使用した実習など、日本DMATで必要な知識を復習していきます。研修の最後には、チームに分かれDIG (Disaster Imagination Game) を行い、南海トラフ巨大地震時の傷病者・DMATの流れをシミュレーションして行きました。2日間とも盛りだくさんの内容で、充実した研修だったと思います。



近隣集団災害出動 2014年7月16日

7月16日13時30分ごろ、大阪市住吉区万代付近で大型バスの事故発生の情報があり、医師3名、看護師1名、ロジスティック1名の5名で出動しました。病院本部とのクロノロジーのやり取りは3 SPidersを使用しました。今回はロジスティックが1名しか出動しておらず、電話連絡など医師や看護師もロジスティックの役割を行いました。幸いにも、重症の方はおらず、バスに乗車していた乗客(25名)の状態を確認し、撤収となりました。



第3回FERST ロジスティクス研修 2014年7月24日

第3回FERSTロジスティクス研修(通称フェルロジ)が開催されました。昨年度から始まったこの研修も3回目を迎えます。情報を制する者は災害を制すると言われていています。ロジスティクスの業務は多く、DMAT隊員のみで遂行するのは困難です。院内の職員の方にも、ロジスティクス業務の重要性を理解していただき、本部運営などのお手伝いをさせていただこうと企画しました。以前から行っていたトランシーバーやクロノロジーの実習はもちろん、今回から、新カリキュラムとして3 SPidersを使用した実習を盛り込みました。院内から9名(理学療法士、言語聴覚士、薬剤師、手話通訳など)、院外から1名の方が受講生として、院外から3名の方が見学者として参加されました。

